

情報セキュリティ

オリンパスグループは、情報の適正な取り扱いと保護は社会的責務であるとの認識のもと、「情報セキュリティ方針」を制定し、情報セキュリティの確保に取り組んでいます。

情報セキュリティ体制

チーフインフォメーションセキュリティオフィサー(CISO)とその専任部門のもと、日本、米州、欧州、中国、アジア・オセアニアの各地域統括会社、およびその他グループ会社を対象に、組織的かつ総合的なグローバル情報セキュリティガバナンスを効果かせ、グローバル・グループ全体での情報セキュリティレベルの維持・向上に取り組んでいます。

情報セキュリティマネジメント

具体的なオリンパスグループの情報セキュリティ体制は、ITセキュリティ・機密情報セキュリティ・製品セキュリティの3つの情報セキュリティ機能分野を軸に構成され、それぞれの分野の取り組みに加えて、事業・機能・地域が連携した施策や管理を実現するためのセキュリティガバナンス体制を整えています。

ITセキュリティ領域

グローバルIT最適化プロジェクトやクラウドシステムの導入等によって、従来のITセキュリティ基盤の全面的な刷新を進め、高いレベルのITセキュリティの実現に努めています。

機密情報セキュリティ領域

個人情報保護法、EU一般データ保護規制(GDPR)やカリフォルニア州消費者保護法(CCPA)等の各国法規制に対応する業務プロセスや社内業務およびシステムの運用状況のモニタリングを行い、情報漏洩や規制違反の発生を防ぐセキュリティ対策に取り組んでいます。

製品セキュリティ領域

安全で信頼できる製品やサービスを提供すべく、グローバル製品セキュリティポリシーを定め、製品のセキュリティ対策を確実にするための製品・サービス導入プロセスを確立しました。また、製品に関する脅威・脆弱性情報を収集し、セキュリティリスクの分析する体制を構築し、早期のセキュリティ対策の実現に努めています。

情報セキュリティガバナンス・教育

これらを確実に実現するため、社内情報セキュリティアセスメントの定期的な実施による運用状況モニタリングや、役員および全従業員に対する情報セキュリティ定期教育など、セキュリティガバナンスを効果かせて、包括的に情報セキュリティレベルの維持・向上に積極的かつ継続的に取り組んでいます。

個人情報保護

オリンパスグループは、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの個人情報を適切に保護し、適正な取り扱いを行うために「個人情報保護方針」を定め、その遵守に努めています。また、「オリンパスグローバル行動規範」においても「個人情報保護」に関する指針を明記しています。

個人情報保護の取り組み

オリンパスグループにおいて管理されるすべての個人情報は、各国の個人情報保護法令に基づき、日本、米州、欧州、中国、アジア・オセアニアの各地域統括会社とともにグローバルで推進体制を整備し、適切に管理・保護しています。

専任部門は、全従業員への個人情報保護教育を定期的に展開しています。また、個人情報を管理する各部門に対して管理状況の定期点検を要請する他、お客さまからの個人情報の開示、訂正、利用停止などの請求や、苦情にも対応しています。

2020年3月期において、個人情報保護委員会への報告が必要となる法令違反やデータの漏洩は発生していません。